

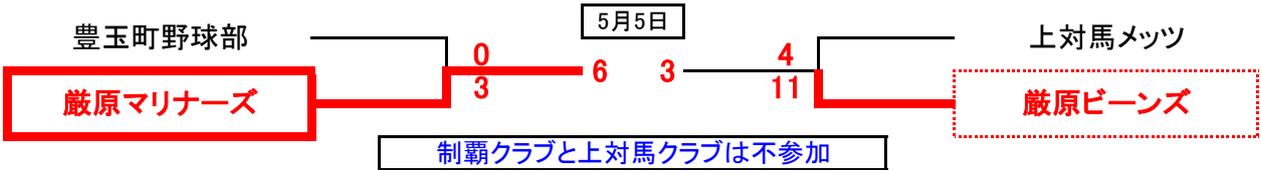
# 高松宮賜杯 第57回全日本軟式野球(1部)対馬予選会

**会期**

第1日 平成25年3月17日(日)  
第2日 平成25年5月5日(日)

**会場**

第1日 美津島野球場  
第2日 美津島野球場



**①【準決勝】 8:57～ 1時間30分**

厳原マリナーズ	000 120 0	3
豊玉町野球部	000 000 0	0

【二】 鬼橋

豊玉は初回の先制機を失った。二死後に打撃妨害と横瀬が安打の一三塁を三振で逸し、二回も一死から四球と二盗が実らず、四回は敵失の一死三塁の好機も失い封じられた。

対するマリナーズは三回に先頭立花の安打が初走者。だが右直併殺で逸した後の四回に敵失に二三盗の武本が鬼橋の左越え二塁打で還った。五回には四球と犠打野選の一死二三塁に武本が一三塁間をゴロで抜き二者を還した。さらに六回にも一死から四球と代打仲地の安打に暴投で二三塁と追加点機を作ったがここは後続の二者が倒れた。

【審判】 西川ほか美津島ポパイ 4名

**【厳原マリナーズ】 打安点球**

⑧ 武本龍太郎	4	1	2	0
⑥ 鬼橋 佑介	3	1	1	1
② 矢ヶ部和洋	2	0	0	1
③ 神宮大司朗	3	0	0	0
⑦ 岩本 一也	2	0	0	1
⑨ 古川 優樹	2	0	0	0
H9 仲地 啓太	1	1	0	0
⑤ 立花 壮史	2	1	0	1
① 山本 卓	2	0	0	0
④ 横松 修	2	0	0	0
H4 土生 英樹	1	0	0	0
犠1振5残5併0	24	4	3	4

**【豊玉町野球部】 打安点球**

⑤ 扇 祥喜	2	0	0	1
⑥ 上野 哲平	3	0	0	0
⑧ 長瀬 健彦	2	0	0	0
③ 横瀬 弘樹	3	1	0	0
① 小島 洋平	3	0	0	0
⑦ 梅野 譲治	3	0	0	0
⑨ 中目 剛	2	0	0	1
④ 井村 直樹	3	0	0	0
② 築城 貴憲	2	1	0	0
犠0振5残5併1	23	2	0	2

**②【準決勝】 10:42～ 1時間24分**

上対馬メッツ	100 201	4
厳原ビーンズ	440 003x	11

【二】 大浦、末富

ビーンズは8死四球を得、6人が得点に絡んでワールド勝ちを収めた。初回は勝見の安打を間に2四球の無死満塁が一死後に末富が右線に2点二塁打。修行の三ゴロが本塁悪送球を誘い二走も還って一気に4点を奪った。二回一死後に敵失と連続四球の満塁に作元が中前に転がす2点打。さらに四球の満塁に修行の左線2点打とたたみ掛けた。六回表に4点差まで迫られたが、その裏に死四球に内野ゴロの二三塁から末富が右前2点打。二進の末富を修行が左前打で還して7点差とした。

メッツは大浦がいきなり左中間二塁打し小島の左前打で先制し梅野四球の一死一三塁に捕飛→一の併殺で追加点機を潰した。三回は先頭中村が安打し上位が連続内飛の二死から小宮の左前打で三塁を陥れたが好返球で刺され逸した。四回に四球に河本が安打。暴投で二三塁となり浦崎の適時

**【上対馬メッツ】 打安点球**

⑧ 大浦 祐喜	3	1	0	0
⑥ 小島 圭祐	3	1	1	0
② 小宮 光	3	1	0	0
④ 梅野 恭平	1	1	0	2
③ 河本 法満	3	1	0	0
⑤ 浦崎 亮真	3	2	1	0
⑦ 糸瀬 力	3	0	0	0
⑨ 岡田 司	3	0	0	0
① 中村 朝輝	2	1	0	0
犠0振1残4併0	24	8	2	2

**【厳原ビーンズ】 打安点球**

⑧ 松本 拓之	2	0	0	2
⑤ 勝見 卓也	2	1	0	1
② 小田 劍生	1	0	0	3
③ 作元 功照	3	1	2	1
① 末富 克弥	3	2	4	1
⑥ 修行 武	4	2	4	0
⑨ 斉藤 友一	2	0	0	0
9 米田 祐介	1	0	0	0
⑦ 上野 雄貴	2	0	0	0
H7 泉 賢人	1	0	0	0
④ 山口 大吾	3	0	0	0
犠1振3残5併1	24	6	10	8

打に敵失で2点を返し、六回には2安打の一死二三塁と追い上げムードだったが暴投による1点を還しただけに終わった。

【審判】 神宮ほか厳原マリナーズ4名

**【決勝】 12:16～ 2時間6分**

厳原マリナーズ	100 050 0	6
厳原ビーンズ	110 010 0	3

【三】 神宮

【二】 岩本、小田拓 修行

1点差を追う五回マリナーズは山代の安打を足場に犠打失と四球の一死満塁に神宮が中前に弾き大きくバウンドする三塁打で逆転。更に死球と原田の安打に小田の二塁打で一挙5点を奪った。

初回2四球から岩本が二塁打の1失点を追うビーンズは連続四死球から小田劍の適時打で同点とし、二回には先頭で二塁打の修行が三盗の間の敵失で勝ち越したが五回に猛攻を受け、その裏に代わった小田拓から死四球を得て暴投による1点を返しただけで、2週間前の天皇賜杯決勝戦の雪辱を晴らすことができなかった。

【審判】 川崎(厳レ)、一宮(厳レ)、黒川(無)、藤島(無)

**【厳原マリナーズ】 打安点球**

⑧ 武本龍太郎	3	0	0	0
⑥ 鬼橋 佑介	1	0	0	2
④ 黒岩 克成	2	1	0	2
③ 神宮大司朗	4	1	3	0
⑦ 岩本 一也	3	2	1	1
② 原田 啓史	4	1	1	0
⑤ 小田 拓也	4	1	1	0
① 山本 卓	3	1	0	0
⑨ 横松 修	1	0	0	0
5 山代 毅	2	1	0	0
犠2振1残7併0	27	8	6	5

**【厳原ビーンズ】 打安点球**

⑧ 松本 拓之	2	0	0	2
⑤ 勝見 卓也	2	0	0	2
⑦ 大坪 宏至	3	1	0	1
② 小田 劍生	4	2	1	0
③ 久和 隆博	3	0	0	0
⑥ 修行 武	3	1	0	0
④ 山口 大吾	2	1	0	0
R4 山岡 拓朗	0	0	0	1
⑨ 斉藤 友一	1	0	0	0
9 上野 雄貴	0	0	0	0
9 川崎 貴夫	1	0	0	0
① 阿比留祐一	2	0	0	1
犠1振8残7併0	23	5	1	7

**【個人表彰選手】**

最優秀選手賞	神宮大司朗(マリナーズ)
優秀選手賞	岩本 一也(マリナーズ)
敢闘賞	山本 卓(マリナーズ)
〃	小田 劍生(ビーンズ)
打撃賞	修行 武(ビーンズ) 7打数3安打

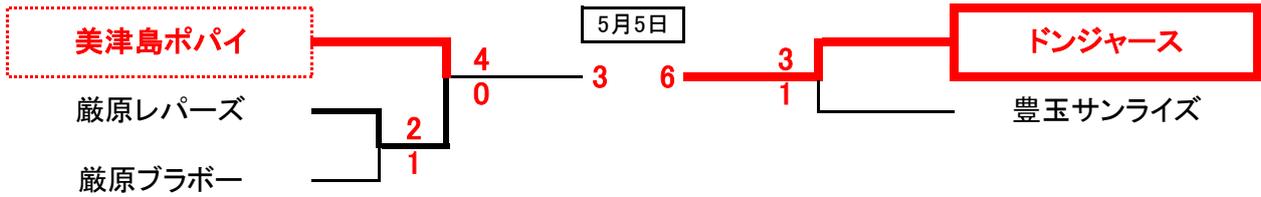
優勝の厳原マリナーズは5月25～26日に波佐見町で開催する県大会に全国大会出場した平成17年以来8年ぶり2回目の高松宮賜杯1部県大会に出場するが、その2週間前の11日には佐世保市で開催の天皇賜杯県大会にも対馬代表として出場する。

※近年の高松宮賜杯1部の決勝戦戦績		県大会の結果
55年	上対馬クラブ	3試合 ベスト4
56年	巖原海王	1-2 上五島クラブ
57年	豊玉クラブ	福江での県大会が雨天順延。1週間後の日程を棄権
58年	巖原海王 7-1 上県クラブ 【九州】0-7 鹿児島新報社(鹿児島)	4-3 東彼杵町役場 2-1 轟クラブ(北高) 4-2 オール江迎(県北) 【決】2-1 県経済連(長崎) ⇒九州ブロック(鹿児島)へ
59年	上対馬ニュー北斗 4-0 巖原ボンバーズ	4-1 温泉病院(島原) 3-0 ロノ津ヤンガス(南高) 【準】0-5 轟(北高)
60年	巖原ワイズ 5-0 峰ファイターズ	2-9 西海クラブ(佐世保)
61年	巖原海王 6-4 美津島マーシャルズ 【九州】5-0 谷口病院(宮崎) 1-5 垂水市役所(鹿児島)	7-4 闘将(佐世保) 3-2 肥前(松浦) 3-1 大村市役所 【決】6-2 舩田グループ(上五島) ⇒九州ブロック(大分)へ
62年	豊玉クラブ 3-1 巖原ワイズ ◆県大会は対馬開催で2チームが参加◆	1-5 大村市役所 ◆前年の同県大会優勝の巖原海王が推薦で参加 5-10 舩田グループ
63年	〃 6-1 巖原海王	3-2 舩田グループ 2-1 中興化成(松浦) 1-0 小長井ク 【決】1-2 NTT長崎
元年	〃 2-0 峰ファイターズ	4-1 三井楽クラブ(福江) 1-3 安中クラブ
2年	〃 9-6 上対馬クラブ 【全国大会】6-7 桃華楼(栃木)=延長14回	4-0 菊池病院(松浦) 3-1 島クラブ(平戸) 4-3 西海クラブ 【決】3-1 全江迎 ⇒全国大会(石川)へ
3年	上対馬クラブ 4-2 峰ファイターズ	0-2 小長井クラブ(北高)
4年	峰ファイターズ 5-4 巖原ワイズ (この年まで各町B級代表対抗戦による予選会)	0-11 西九州三菱自販(長崎)
5年	美津島マーシャルズ 3-2 〃 (この年からB級登録全チーム対抗戦となる)	3-6 鹿町バンビーズ(県北)
6年	美津島ポパイ 7-4 峰ファイターズ	1-4 小長井クラブ(北高)
7年	上対馬ライオンズ 2-1 豊玉町野球部	2-1 佐世保市水道局 0-2 諫早信用金庫
8年	〃 1-0 巖原ファイターズ	1-0 番クラブ(佐世保) 2-0 ホワイアパッチ(松浦) 【準】2-1 ハウステンボス
9年	巖原ファイターズ 4-1 上対馬メッツ	2-6 浜屋百貨店(長崎)
10年	大洋真珠クラブ 3-2 上対馬クラブ	2-0 東海クラブ(壱岐) 0-3 大村市役所
11年	巖原レパーズ 8-5 巖原マリナーズ	0-6 松石電設(諫早)
12年	〃 1-0 〃	2-6 飯盛クラブ(北高)
13年	〃 6-2 〃	4-5 三井楽クラブ(福江)
14年	豊玉町野球部 3-0 峰ファイターズ	5-0 エンゼルス(佐世保) 5-0 若松(上五島) 【準】0-5 たちばな信金
15年	〃 2-1 巖原マリナーズ	0-4 吾妻町体協(南高) 4-2 九電長崎 【準】2-3 TEAM橋口(大村)
16年	〃 4-0 巖原レパーズ	豊玉が辞退。レパーズが代理出場。 0-16 たちばな信金(諫早)
17年	巖原マリナーズ 7-0 巖原ブラックタイガース 【全国大会】0-9 クライム(静岡)	2-1 生月体協(県北) 2-0 御厨ベイスターズ(松浦) 【決】3-1 ニューインペリアルレッズ(大村) ⇒全国大会(兵庫)へ
18年	巖原NYビーンズ 4-0 巖原マリナーズ	0-3 轟クラブ(諫早)
19年	〃 9-6 上対馬クラブ	0-7 県支払基金(長崎)
20年	巖原レパーズ 棄権 制覇クラブ	0-7 彼杵スラッガーズ(東彼)
21年	〃 6-0 〃	1-3 西龍クラブ(平戸)
22年	巖原NYビーンズ 5-1 上対馬クラブ	4-5x (延長8回無死満塁制・逆転サヨナラ) 松浦ベイスターズ
23年	制覇クラブ 8-6 巖原NYビーンズ	0-7 榊南原(大村)
24年	〃 11-10 上対馬メッツ	8-6 ケンズ(佐世保) 1-7 グランドスラム(県北)
25年	巖原マリナーズ 6-3 巖原ビーンズ	

# 高松宮賜杯 第57回全日本軟式野球(2部)対馬予選会

**会期** 第1日 平成25年3月17日(日)  
第2日 平成25年5月5日(日)

**会場** 第1日 美津島野球場  
第2日 美津島野球場



①【一回戦】12:20～ 1時間28分

厳原ブラボー	000 001 0	1
厳原レパーズ	100 001 X	2

【三】田中淳  
【二】田中淳

ブラボーの井(48)は4安打無四球の好投を演じたが、その4安打が全て失点に結びついた。初回先頭の田中に左線二塁打されると犠打三進後に木屋に左前に運ばれた。1-1同点の六回裏にも先頭の田中に右線三塁打された後に志賀に対して左線打。他に出した走者は二回先頭に自らの失策で二死三塁とまでされた5人の走者だけであった。

対してレパーズの林田(42)は7四球を与えたが後続を絶ち特に三回は先頭に四球。犠打二進後に三盗死に助けられ二死後に四球と神宮聖の安打に捕逸で二三塁のピンチを凌いだ。失点は六回3四球の二死満塁に暴投で与えたのみ。

【審判】小田ほか厳原ビーンズ4名

②【準決勝】13:58～ 1時間16分

ドンジャース	000 000 3	3
豊玉サンライズ	000 100 X	1

2週間前の西日本2部決勝戦の再現はドンジャースが逆転で雪辱した。1点差を追う最終七回は先頭が死球。永留潤の一塁前バントが内野安打となり、その後重盗で二三塁に吉村が右前に転がし同点。二塁から永留も本塁を突いたがこれは挟殺。この間に三進した吉村が左飛失で還った後の二死二塁に井村の内野安打で長岡が好走し3点目の生還。

サンライズは四回に先頭の井上と永留が連打の一死二三塁に吉田の中犠飛で先制したが、五回以降は得点圏に走者を進めることができなかった。

【審判】神宮ほか厳原ブラボー4名

③【準決勝】15:27～ 1時間31分

美津島ポパイ	100 120 0	4
厳原レパーズ	000 000 X	0

【三】小島一  
【二】西川

ポパイは初回敵失走者を犠打で進めた後に敵失により先取点を挙げると、四回には一死後に3連続四球を得、内野ゴロ本封失で追加点。さらに五回は三番手の豊田(56)から小島が中越え三塁打。続く川崎も右前に転がすと二盗と内野ゴロで三進の川崎が敵失で還るなど着実に加点した。

対するレパーズはポパイ中尾(40)の速球と変化球に散発4安打。得点機は先頭で安打の木屋を犠打で二進させた二回裏と、三回にも一宮が先頭で安打し犠打二進後に三盗を決めた二死三塁。五回は四球に犠打と田中の安打で二死一三塁を二盗死で逸すると、最終の七回は先頭の四球から一宮の安打で二死一二塁の得点機も凡退し封じられた。

【審判】武田ほかドンジャース4名

【厳原ブラボー】打安点球

⑥ 江口 豊隆	1 0 0 3
⑧ 神宮 聖也	4 1 0 0
② 神宮 保夫	3 0 0 1
④ 田中 敬二	2 0 0 1
⑨3 戸井 寛司	3 0 0 0
⑤ 馬場 誠也	2 0 0 1
① 井 浩	3 0 0 0
③ 勝見 賢次	0 0 0 1
H9 中山貴美男	2 0 0 0
⑦ 阿比留竜馬	0 0 0 0
H7 原口 大輔	0 0 0 0
H 多田 直樹	1 0 0 0
犠2振0残7併0	21 1 0 7

【厳原レパーズ】打安点球

⑧6 田中 淳也	3 2 0 0
④ 志賀 慶二	2 1 1 0
⑥ 一宮 努	2 0 0 0
H7 扇 裕二	1 0 0 0
⑦8 木屋 勝也	3 1 1 0
① 林田 芳和	3 0 0 0
⑤ 内山 歩	2 0 0 0
③ 舍利倉政司	1 0 0 0
⑨ 松島 哲也	2 0 0 0
② 阿比留新吾	2 0 0 0
犠2振3残3併0	21 4 2 0

【ドンジャース】打安点球

⑥ 長岡 亮	3 0 0 1
⑨ 井村 昭洋	4 2 1 0
⑤ 阿比留正臣	3 0 0 0
③2 阿比留克博	3 0 0 0
⑧ 永留 秀敏	3 0 0 0
① 永留 英昭	2 0 0 1
④ 永留 潤也	3 2 0 0
⑦ 吉村 貴志	2 1 1 1
② 中嶋 洸祐	2 0 0 0
H3 武田 浩二	1 0 0 0
犠0振1残5併0	26 5 2 3

【豊玉サンライズ】打安点球

⑧ 沢村 望	3 0 0 0
⑥ 井上 誠一	3 1 0 0
⑦ 永留 桂祐	3 2 0 0
③ 石丸 誠生	3 0 0 0
⑨ 吉田 周平	1 0 1 0
H9 永留 和豊	1 0 0 0
⑤ 梅野 聡志	2 0 0 0
H 築城 公則	1 0 0 0
④ 中嶋 慎一	2 0 0 0
H 阿比留寿也	1 0 0 0
② 村瀬 新吾	2 1 0 0
① 平松 憲人	2 0 0 0
犠1振1残3併0	24 4 1 0

【美津島ポパイ】打安点球

⑤6 大北 新悟	4 0 0 0
⑧7 西川 迅	3 1 0 0
④5 小島 一輝	4 1 0 0
⑥ 寺谷 威	0 0 0 0
H9 岩佐佳一郎	1 0 0 0
8 川崎 滉祐	3 1 1 0
① 中尾 寿憲	2 0 0 2
⑦4 黒川憲太郎	2 0 0 1
⑨89 田口 功二	2 1 0 1
② 波田 正嗣	3 0 0 0
③ 小島 勝也	3 0 0 0
犠1振4残7併0	27 4 1 4

【厳原レパーズ】打安点球

⑧16 田中 淳也	3 1 0 0
④ 志賀 慶二	3 0 0 0
⑦9 扇 裕二	3 0 0 0
①8 木屋 勝也	3 1 0 0
③ 舍利倉政司	0 0 0 0
3 林田 芳和	1 0 0 1
⑤ 内山 歩	2 0 0 0
H 糸瀬 宏昭	1 0 0 0
⑨ 松島 哲也	1 0 0 0
1 豊田 充	2 0 0 0
⑥2 一宮 努	2 2 0 1
②7 阿比留新吾	1 0 0 0
犠3振3残6併0	22 4 0 2

【決勝】09:55～ 1時間57分

ドンジャース	020 000 4	6
美津島ポパイ	100 200 0	3

【三】永留英、長岡

【二】武田、西川迅、  
西川典、大北

【ドンジャース】 打安点球 【美津島ポパイ】 打安点球

⑥ 長岡 亮	4 2 1 0	⑧ 川崎 滉祐	3 1 0 0
④ 永留 潤也	2 0 1 0	⑥ 大北 新悟	2 1 0 0
⑧ 上松 洋	4 0 0 0	④ 小島 一輝	3 0 1 0
③2 原田 武茂	2 0 0 2	⑤ 寺谷 威	3 0 0 0
⑦ 永留 秀敏	2 0 0 0	① 中尾 寿憲	3 1 0 0
9 吉村 貴志	1 0 0 0	⑦ 西川 迅	3 1 0 0
① 永留 英昭	3 1 1 1	③9 田口 功二	3 1 0 0
⑤ 中庭 俊樹	3 1 1 0	⑨ 田口 憲一	0 0 0 1
⑨7 井村 昭洋	3 0 0 0	H3 西川 典夫	2 1 2 0
② 黒岩 洋介	1 0 0 1	② 波田 正嗣	3 0 0 0
R3 武田 浩二	1 1 0 0	犠1振3残3併0	25 6 3 1
犠4振8残7併1	26 5 4 4		

先制したのはポパイ。川崎が左前に転がし二盗。犠打三進後に小島の三ゴロ野選で幸先の1点。逆に1点差を付けられた四回は中尾の安打に西川迅がエンタイトル二塁打の二死二三塁に監督の西川典(42)が自ら代打。左越え二塁打で再び1点勝ち越した。追加点が欲しい五回は二塁打の大北が捕逸三進後に小島の二直打で飛び出し併殺を喫した。

必勝の念に燃えるドンジャースは今季開幕試合の西日本2部でポパイに1-0完封勝利の永留英の粘投に報いたいところ。二回四球を犠打二進させた後にその永留英が右中間突破の三塁打で同点。中庭の三塁前スクイズで勝ち越した。その後、三回は一死二三塁、四回は二死二塁、五回は一死二三塁の得点機を逸し、1点差を追う最終の七回に大逆転。先頭の武田(監督・41)が左中間二塁打し、続く長岡が右線三塁打。永留潤の遊前スクイズが決まり永留も敵失で生きると二盗。一死後に暴投三進し四球の原田が二盗した二三塁に二つの捕逸で生還し3点差を付ける4点が入った。

【審判】 勝見(厳ブ)、柴田(やま)、津屋(豊サ)、波田(豊玉)

優勝したドンジャースは、6月1日～2日に諫早市で開催の県大会に出場するが、平成9年に連盟登録して初の県大会。実に17年目の晴れ舞台。当時から登録している選手は原田武茂(46)、古瀬博文(40)、佐伯勝也(37)、阿比留克博(33)など。

峰ファイターズ(H.17)や峰エンジェルス(H.19)に、美津島クラブ(H.20)の解散等により選手を吸収して豊玉ドンジャースからドンジャースに改称したのが平成20年から。

苦節の17年間の公式戦戦績は以下のとおり。

(★は決勝戦敗退＝準優勝)

【個人表彰選手】

最優秀選手賞	永留英昭(ドンジャース)
優秀選手賞	長岡 亮(ドンジャース)
敢闘賞	永留潤也(ドンジャース)
"	西川典夫(美津島ポパイ)
打撃賞	長岡 亮(ドンジャース)7打数3安打



平成9年	高松2 ● 0-5 敵原ビーンズ 選手権 ● 2-4 敵原シーガルズ	平成20年	高松2 ○ 不戦 敵原ブラックタイガース ○ 8-1 対馬やまねこクラブ ● 0-7 豊玉町野球部 天皇杯 ● 2-6 敵原クラブ 玄海予 ○ 不戦 制覇クラブ ◎ 6-2 美津島クラブ 玄海本 雨天中止: アンクルボーイ 選手権 ● 1-13 敵原レパーズ
平成10年	高松2 ● 1-8 美津島ホークス 天皇杯 ○ 10-2 ミッドナイトオーガ ● 1-4 豊玉町野球部 選手権 ● 6-9 美津島ポパイ	平成21年	西日2 ● 2-4 豊玉サンライズ 高松2 ○ 7-1 美津島ポパイ ○ 8-1 敵原ブラックタイガース ★ 3-4 敵原ファイターズ 天皇杯 ● 1-9 敵原マリナーズ 選手権 ○ 3-2 敵原ブラックタイガース ● 0-6 上対馬メッツ
平成11年	高松2 不参加 選手権 ● 棄権 陸上自衛隊	平成22年	高松2 ○ 8-3 敵原ファイターズ ○ 9-7 美津島マーシャルズ ★ 0-2 上対馬メッツ 天皇杯 ● 棄権 敵原マリナーズ 選手権 ● 1-2 敵原ビーンズ
平成12年	高松2 不参加 玄海予 ● 2-11 敵原海王 選手権 ● 棄権 敵原ブラボー	平成23年	高松2 ● 棄権 上対馬メッツ 天皇杯 ● 7-8 上対馬クラブ 玄海予 ○ 9-0 対馬やまねこクラブ ◎ 6-1 敵原シーホーク 玄海本 ● 0-5 箱崎クラブ 選手権 ● 1-3 敵原マリナーズ
平成13年	高松2 不参加 選手権 ● 8-9 上対馬クラブ	平成24年	高松2 ● 1-5 敵原レパーズ 天皇杯 ● 棄権 上対馬メッツ ● 棄権 敵原ブラボー
平成14年	高松2 ● 2-3 上対馬クラブ 玄海予 ● 棄権 佐賀エンジェルス 選手権 ○ 不戦 峰OBファイターズ ○ 2-0 峰ファイターズ ● 0-19 敵原レパーズ	平成25年	西日2 ○ 1-0 美津島ポパイ ★ 1-8 豊玉サンライズ 高松2 ○ 3-1 豊玉サンライズ ◎ 6-3 美津島ポパイ 天皇杯 ● 0-10 敵原マリナーズ
平成15年	高松2 ○ 3-0 美津島フェニックス ● 0-9 敵原ファイターズ 国体B ● 2-10 峰ファイターズ 選手権 ● 0-7 峰ファイターズ		
平成16年	高松2 ● 1-6 上対馬クラブ 玄海予 ○ 2-1 対馬やまねこクラブ ● 2-3 美津島マーシャルズ 選手権 ● 0-1 敵原ファイターズ		
平成17年	高松2 ● 1-13 制覇クラブ 選手権 ● 棄権 峰エンジェルス		
平成18年	高松2 不参加 選手権 ● 0-14 敵原ビーンズ		
平成19年	高松2 ○ 7-5 対馬やまねこクラブ ● 2-9 美津島クラブ 天皇杯 ○ 4-2 敵原クラブ ● 0-14 敵原マリナーズ 玄海予 ● 5-8 美津島ポパイ 選手権 ● 5-10 敵原ブラックタイガース		

※近年の高松宮賜杯2部の決勝戦戦績		県大会の結果
52年	上対馬漁協 <b>★全国優勝★</b> 県 3-0 朝長時計店(長門) 3-2 有川川(上五島) 9-0 上五島ブローズ 九州 8-0 有田白嶺(佐賀) 4-3 国東クラブ(大分) 全国 8-1 札幌市水道局(北海道) (栃木) 8-4 岸和田市役所(大阪) 7-4 ニューモンスター(鳥取) 3-1 河合楽器ファイターズ(静岡)	
53年	豊玉クラブ	2-4 松浦クラブ(松浦)
54年	航空自衛隊	0-8 電源開発(西彼)
55年	〃	雨天順延棄権 今福メッツ(松浦)
56年	豊玉クラブ	4-10 小長井クラブ(北高)
57年	電電佐賀野球部	4-5 国見クラブ(南高)
58年	豊玉コメッツ	4-3 九電上五島 4-1 安中クラブ(島原) 【準】6-7 崎山クラブ(福江)
59年	〃 3-1 巖原ファイターズ	5-9 吉井クラブ(県北)
60年	〃 3-1 美津島シャドウズ	1-3 諫早市役所
61年	美津島ポパイ 13-6 峰スターズ	7-0 森山クラブ(北高) 3-2 ハンジャース(上五島) 【準】1-3 九電長崎支店
62年	〃 8-4 巖原シーガルス	8-1 吉井クラブ(県北) 5-4 有家クラブ(南高) 【準】1-8 健友クラブ(島原)
63年	〃 2-1 〃	1-6 島原市役所
元年	豊玉コメッツ 2-0 美津島マーシャルス	0-2 諫早市役所 <b>◆対馬で開催◆</b>
2年	上対馬ライオンズ 4-3 美津島ポパイ	6-0 ホニータル(松浦) 3-0 波佐見ローズ(東彼) 2-0 千々石町(南高) 【決】7-1 九電佐世保 <b>〈九州ブロック〉</b> 2-5 宮崎市役所
3年	〃 4-0 巖原海王	6-9 ソニー長崎(諫早)
4年	上対馬メッツ 1-0 佐護リバーズ	1-2 番クラブ(佐世保)
5年	〃 棄権 巖原レパーズ (この年まで6町代表対抗戦による予選会)	3-1 小川仏具(諫早) 4-2 森山(北高) 【準】4-7 スカイホテル(長崎)
6年	巖原レパーズ 8-1 巖原ファイターズ (この年からC級登録全チームの対抗戦となる)=14チーム	3-0 岐宿(福江) 4-2 福島(県北) 【準】1-0 エンゼルス(佐世保)
7年	佐護リバーズ 4-3 〃	2-6 飯盛クラブ(北高)
8年	上対馬クラブ 3-1 美津島マーシャルス	2-1 有明町クラブ(南高) 1-2 西海棒球隊(西彼)
9年	〃 4-0 峰ファイターズ	0-3 有明町クラブ(南高)
10年	巖原マリナーズ 8-0 美津島ホークス	2-6 KAIDEN(松浦) 6-0 奈留クラブ(福江) 2-0 九電長崎支店 【決】10-1 カートップ(東彼) <b>〈九州ブロック〉</b> 1-4 佐賀玉屋
11年	美津島ポパイ 8-6 巖原ファイターズ	1-0 小川仏具クラブ(諫早) 4-5 福江クラブ
12年	〃 7-6 美津島ホークス	0-5 森山クラブ(北高)
13年	上対馬メッツ 2-1 佐賀エンゼルス	8-0 新星クラブ(島原) 6-2 アリアケジャパン(県北) 【準】1-2 長崎市水道局
14年	巖原ファイターズ 3-1 美津島フェニックス	1-6 ATMB・アトム(諫早)
15年	巖原ブラボー 14-7 巖原N・Yビーンズ <b>県大会が対馬開催により</b> 巖原ビーンズ <b>4チーム出場</b> 巖原ファイターズ 佐賀エンゼルス	0-10 あすか電機(長崎) 8-1 石田ジャガース(舌岐) 6-3 佐賀エンゼルス 【決】0-11 あすか電機 9-2 県職五島(福江) 【準】0-8 あすか電機 8-0 ATMB・アトム(諫早) 【準】3-6 巖原NYビーンズ
16年	佐賀エンゼルス 3-2 巖原ファイターズ	10-0 クラブZOO(上五島) 1-9 ドルフィンズ(諫早)
17年	制覇クラブ 10-3 峰エンゼルス	2-3 ブルーエンゼル(大村)
18年	〃 8-1 〃	◆制覇クラブも峰エンゼルスも辞退のため不参加◆
19年	峰エンゼルス 1-0 美津島クラブ	0-3 大村ベイスターズ(大村)
20年	豊玉町野球部 12-0 豊玉サンライズ	4-7 松尾総業野球クラブ(県南)
21年	巖原ファイターズ 4-3 ドンジャース	0-11 ナインズ(県北)
22年	上対馬メッツ 2-0 〃	3-2 海自・大村 1-8 オール江迎(県北)
23年	〃 6-4 豊玉サンライズ	2-3 JF長崎県漁連野球部(諫早)
24年	巖原ブラボー 5-3 巖原レパーズ	0-10 県立大学軟式野球部(佐世保)
25年	ドンジャース 6-3 美津島ポパイ	